

【言語聴覚士】

◎主な配属先、業務内容

■出先機関

県立病院 リハビリテーション室



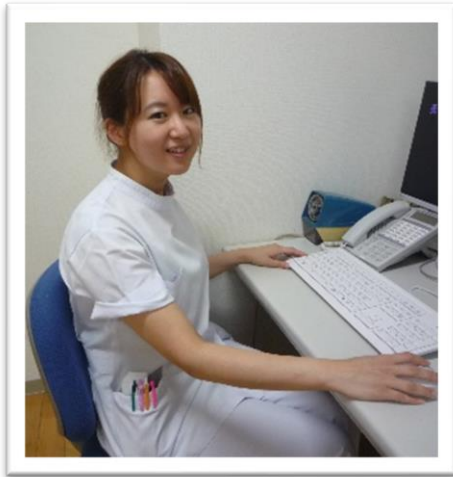
- 脳卒中などにより思うように言葉が出ない・話せない患者さんや上手く食事を飲み込めない患者さんに対し、言語や嚥下のリハビリ

こども療育センター

- 言語発達の遅れ、対人面・行動面で気がかりがあるお子さん、構音障害、難聴のあるお子さんやうまく食べることができないお子さんを対象に、評価・指導などの言語聴覚療法を実施



【言語聴覚士】平成27年度採用



県立病院

南出 麻結

(福井医療短期大学
リハビリテーション学科言語聴覚学専攻 卒業)



【主な担当業務】

- ・入院患者さんへの言語聴覚療法
- ・多職種での院内や地域連携カンファレンス
- ・摂食嚥下に問題のある患者さんのリハビリ

◎ある一日のスケジュール

8:30 業務開始、 カルテチェック	9:00 リハビリ業務	10:00 病棟カンファレンス	12:00 昼休み	13:00 リハビリ業務	15:30 カルテ記載や書類作成	17:15 業務終了
--------------------------	----------------	--------------------	--------------	-----------------	---------------------	---------------

◎福井県職員を志望した理由

福井育ちでしたが在学中はどのような場所で働くかということに関してははっきりとしたイメージを持っていませんでした。しかし、ずっと福井で生活していたということもあり、**就職先を検討する中で地元**に貢献したいという思いを次第に持つようになり受験しました。県立病院は**県内最大規模の診療科**があり、幅広い分野での仕事や様々な疾患の方と関わることで**多くの経験が積める**のではないかと思います。選択しました。

◎仕事をはじめて感じていること、やりがい

現在、急性期病棟・回復期病棟でのリハビリ業務を担当しています。急性期ということもあり、日々接する患者さんの容態は変化しやすく高度なリスクも伴います。そのため毎朝のカルテチェックや医師・看護師、他のリハビリ職種との連携が欠かせません。そのような中でリハビリを行い、**前日と比較し少しでも改善があった時や本人・家族の方から感謝の言葉を述べられたとき、喜んでいる顔を見るとリハビリを担当してよかった**と思います。

◎採用試験対策

教養試験と専門試験の2分野からの出題であったため、範囲としては少し多いように感じました。教養に関しては**国家試験の参考書など**を利用し勉強をしていました。専門知識に関してはまだ不十分なところもありましたが、**学校との実習期間と重なっていたこともあり、そこで見聞きしたことや授業内容などを少しずつ結びつけるようにして勉強**しました。

◎後輩たちへ一言

福井県で唯一の県立総合病院ということもあり、**より多くの経験が積めることが大きな魅力**だと思います。また、1人の患者さんに対して多職種が関わるため職員間のコミュニケーションが多く、和気あいあいと仕事に取り組みます。経験豊富な先輩方も多いため様々な意見をいただいて日々精進しています。**福利厚生や休暇などの環境にも恵まれているため、仕事・プライベートともに充実することができ、とても働きやすい職場**だと思います。